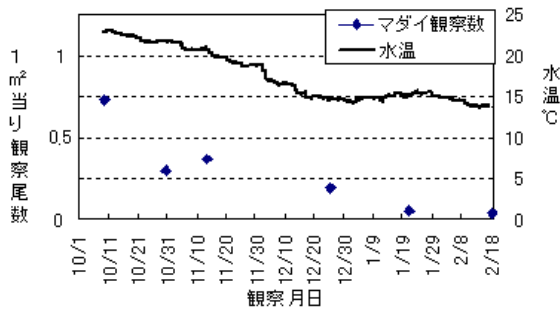


## 港に放流したマダイはいつまで滞留するか？

夏に放流したマダイはいつまで放流場所に  
残るのでしょうか？伊東マリンタウン港では  
8月に放流されたマダイの観察を10月以降  
行ってきました。下の図はマダイの観察尾数と  
水温の推移を表したものです。マダイは成長す

る一方、季節が進むにつれ観察尾数は少なく  
なりました。これは水温の低下とともに、港外に  
出て行ったものと解釈されます。2月でもわず  
かに港内に残っており、港によっては、長期間  
滞留することがわかりました。長期間の滞留は  
放流魚が自然にうまく加入したことを意味し、  
今後、漁獲されることが期待されます。



1月21日に観察されたマダイ→



### サクラマス海面養殖試験

定置漁業会社である網代漁業(株)が網代湾で水産技術研究所の指導の下、サクラマスの試験養殖を行っています。昨年12月4日に平均265gの種苗約7,500尾を生簀に入れて飼育しています。2月末現在で600gから1kgの立派な魚体に育っています。定置網経営の複合化の一環で取り組んでおり、サクラマス以外にも定置網の漁獲物を利用した養殖を目指しております。



サクラマス→  
サケ科に属する魚

### ふじのくに農芸品フェア2015

2月21・22日、沼津駅前のプラザヴェルデで、ふじのくに農芸品フェア2015が開催されました。公開セミナーの中で、当分場職員が「ガラム場を回復させる方法」を講演すると同時に、パネルにより研究成果の紹介を行いました。また、いとう漁協が自ら製造販売している「新鮮すり身サバ男くん」の試食と販売を行いました。



いとう漁協のブース→

【解説】農芸品：多様な風土と温暖な気候に恵まれた静岡県では多彩で品質の高い農林水産物を生産され、こうした県産の農林水産物を「ふじのくに農芸品」として紹介しています。

**3月の予定** ・今年の天草作柄を予測するため、潜水調査を行います。  
・3月6日に下田市教育委員会主催の水産・海洋学講座で「変化する海～黒潮と沿岸水温～」と題して講演を行います。

**会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。**

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜 251-1 電話 0558-22-0835  
アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu